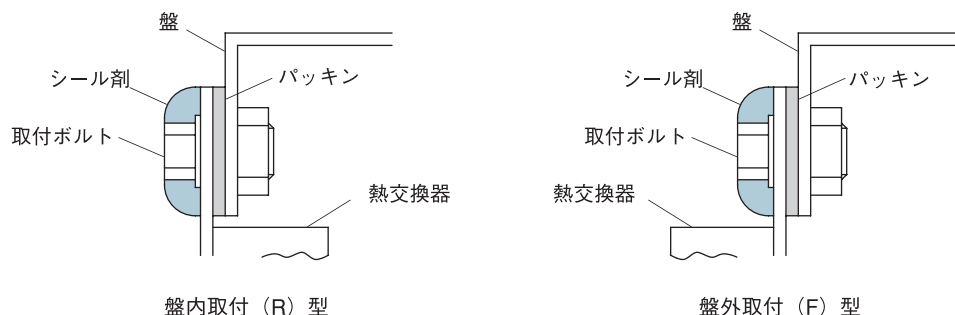


取付方法

(1) 水分・オイルミストなどが多い環境で使用する場合は、下図に示すように熱交換器取付ボルト周囲をシール剤でコーキングして防水処理を実施してください。

なお、盤取付面または周囲環境の状態によっては、パッキンと盤取付面との間にもシール剤でコーキングを実施してください。



(2) 熱交換器の吸込口、吹出口の近くには、壁などの障害物を設けないようにしてください。

(3) 保守点検が容易な位置に設置してください。

(4) 端子台にあるアース端子に必ずアース線の接続を行ってください。

(5) 電源線接続後は端子台カバーを元通りに取り付けてください。

保守点検

点検時期	点検部品	点検内容	処 置
毎日 (始動時)	内部ファン 外部ファン	ファン回転中に異常音、振動などが発生していないか。	異常音、振動などが発生していれば 所定のファンに取り替える。
毎週 または 1ヶ月	フィルタ	目詰まりしていないか。	<ul style="list-style-type: none"> 目詰まりが少ない場合 フィルタを取り外し、軽くたたか掃除機などで清掃して取り付ける。 油脂分を含み汚れがひどい場合 中性洗剤で洗浄した後水洗いを行ってから十分乾燥させて取り付ける。
6ヶ月 または 1ヶ年 (停止時)	放熱プレート	放熱プレート表面に汚れが付着していないか。	<ul style="list-style-type: none"> フィルタ・ファンを取り外してエアブローにより放熱プレートに付着している汚れを取り除く。

※注意事項

- ・フィルタおよび放熱プレートの目詰まりがひどくなると風量が低下し冷却能力の低下を招くことになります。
- ・上記点検頻度は一応の目安ですので汚れの程度に応じて清掃の間隔を適宜調整してください。